

図書館友の会けやき ニュースレター 2022.1.28

特 集

森と広場のある図書館へ

—守山市立図書館インタビュー—

「図書館王国」とも称される滋賀県で、2018年にリニューアルオープンした守山市立図書館は、建築家の隈研吾氏の設計ということもあり、当時大きな注目を集めました。「本の森」「つながる森」「木もれび広場」の三つのゾーンに分かれた広々とした館内、建物だけでなく、市が直接運営する図書館のサービス内容も気になります。守山市まで少し遠出をして、お話を伺ってきました。

◇2021年11月19日 於：守山市立図書館

◇図書館：松本孝子氏（守山市立図書館館長）

西村克子氏（守山市立図書館副館長）

◇けやき：永井、伊藤、奥坂、杉原、田中、澤田

☆リニューアル3周年を迎えて

けやき：注目を集めてのリニューアルから、軌道に乗った直後のコロナ禍と、大変な3年間だったと思います。まず、リニューアル時のコンセプトは？

守山市立図書館（以下守山）：「本と人が出会い、人と人がつながる知の広場」というコンセプトです。本との出会いはも

ちろん、市民が集う場所を提供したり、人と人がつながるためのサービスを展開したりすることを目指しました。

けやき：リニューアル前と比べて、市民との距離は近くなりましたか？

守山：2015年度は住民一人当たりの貸出冊数は8.05冊でしたが、2020年度はコロナ禍で利用者が減ったにもかかわらず、11.1冊でした。「図書館サポート隊」として活動する市民・団体も増え、「図書館友の会」もできました。

けやき：図書館は市内に1館ですが、来館しにくい人への対応は？

守山：公民館である速野会館、中洲会館に加えて、JR守山駅の「駅前総合案内所」でも予約資料の受け取りができます。守山市の北部地域は市の中心部から距離があり、図書館を利用しづらいのがリニューアル前からの課題でしたが、令和5年度に分館ができる予定です。

けやき：駅前で予約資料が受け取れるのは便利ですね。プライバシーの保護など注意されていることはありますか？

守山：中身が見えないように専用の袋に入れて、袋のおもてに利用者番号と名前を記載した紙を入れています。案内所の

スタッフは利用者の貸出カードを確認して、袋ごと予約資料を手渡し、利用者が資料を取り出して、袋だけ返却するという形をとっています。

けやき：地域によって、サービスに差が出ないように工夫されているのですね。

守山：「全域サービス」を心がけ、既存施設や民間施設の利用など、できることから始めています。

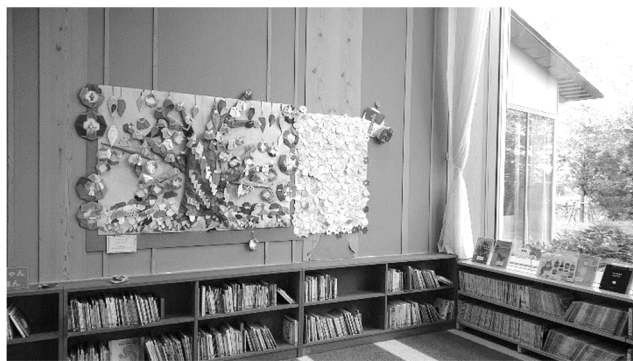
☆市民と支えあう図書館

けやき：「図書館サポート隊」とは？

守山：図書館に関わるさまざまな催しや業務をサポートしてくれる方たちのことです。本に直接関わる人だけでなく、図書館内の貸館スペースを利用したコンサートや講演会などを開催する人たちも、ここに属しています。

けやき：本に関わることで？

守山：本の修理を行う「本おなおい隊」、児童書コーナーにある「おはなしのいえ」の飾りつけをする「としょかんかざり隊!」、おはなし会をする「おはなしボランティア」などがあります。



けやき：配架のためのボランティアはいますか？

守山：ボランティアではなく、土曜日、日曜日、祝日、休館明けなど返却の多い日にだけ勤務してもらう、アルバイト職員を雇用しています。

けやき：ボランティアに対する講習会はありますか？

守山：「おはなしボランティア養成講座（全5回）」や「本おなおい講座」を実施しています。

けやき：サポート隊は大人だけですか？

守山：中高生サポーターがおり、熱心に活動してくれています。ティーンズコーナーのポップ作りのほか、クイズラ

リーなどのイベントも行っており、たくさんの親子連れが参加してくれます。



また、「本の闇鍋」という中高生サポーターおすすめの本3冊が入った袋を、利用者が選んで借りる企画も大変好評です。どんな本が入っているのか、内容を想像させる見出しが袋についており、そのメモに利用者が感想を書いて返却してくれたりしました。

けやき：どのくらいの頻度で活動しているのですか？

守山：月1回ミーティングがあります。現在は30人の中高生が活動しています。さまざまな学校から学年の異なる生徒たちが集まっていますが、本が好きな者同士、和気あいあいと楽しんでいます。

けやき：講演会などを開催するサポーターとは？

守山：図書館には多目的室、スタジオ、活動室があり、講座や朗読会、音楽活動などのために、市民が利用できる貸室があります。これらを利用して定期的に市民のために催しをする団体などがサポーターに登録しています。サポーターに登録すると、施設の利用料が無料となったり、チラシを100枚まで図書館で印刷できたりするなどのメリットがあります。

☆地元企業との連携

けやき：ビジネス支援としてはどのようなことをされていますか？

守山：「本の森」の起業就労支援コーナーでは、本やチラシ、パンフレットを置いています。資料の提供だけでなく、市の商工観光課と市内企業が連携し、各企業を紹介する展示

を1階のギャラリーで行っています。1回3社ずつ10日間で、2020年度は計6回行いました。たくさんの方が訪れる図書館でPRができるとあって、企業からも大変好評です。この展示が、地元での仕事の発注や就職に結びつくこともあるそうです。

けやき：地域に根づいた活動ができていますよね。

守山：商工会議所の創業塾も活発です。図書館が直接ビジネス支援を行っているというよりは、関係各所につなぐ役目を果たしています。

☆人が集まる「広場」に

けやき：「つながる森」の貸館業務は図書館が行っているのですか？

守山：はい。「本の森」の集会室だけでなく、「つながる森」の多目的室やスタジオも図書館が直接管理しています。この図書館に幅広い層の人がたくさん集まってほしいという思いがあります。

けやき：きれいで設備の整った施設なので、人気がありそうですね。

守山：コロナ禍で一時的に利用は減っていますが、それでも常にどこかの部屋が利用されています。ドラムセットやピアノのあるスタジオは若い人たちの利用も多く、本を借りる人でなくても、図書館に来てくれるような「広場」になっていると思います。

けやき：学習室も多くの人に利用されていますか？

守山：はい。テスト期間前などは特に利用が多く、週末の朝には整理券を配っています。図書館のティーンズコーナーにも力を入れており、中高生にとって、身近な図書館にしていきたいと考えています。

☆学校・病院とのつながり

けやき：市内の小中学校との連携は？

守山：小学生の図書館見学、中学生の職業体験などを受け入れています。コロナ禍で減っているので、図書館から働きかけていくことが必要だと思っています。また、市立の小中学校に図書館から学校図書館司書を派遣しています。司書のミーティングを月1回図書館で行い、研修や情報交

換をしています。

けやき：近くには大きな病院があるのですね。

守山：お隣の県立総合病院に出張貸出をしています。また県立小児保健医療センターでおはなし会を行っています。

いずれもコロナ禍で活動が制限されていますが、状況を見て再開していく予定です。また図書館でも「出張がん相談」や、がん教室「まなびや」を開いています。

けやき：障がいをもった方へのサービスは？

守山：2020年から来館が難しい方へ図書館資料を郵送で貸し出すサービスを始めました。視覚障がい者への対面朗読だけでなく、公開朗読会も月に一度行っていて、こちらは一般の人も参加できるため、毎回たくさんの方が来てくれます。

☆コロナ禍でできること

けやき：コロナ禍でどのような対応をされましたか？

守山：臨時休館をした約1カ月間も専用窓口を設け、予約本の貸出のみ行いました。通常開館に戻ってからも、閲覧席・学習コーナーの席数制限や、貸館の利用制限を行うなど、状況に応じて対策を行っています。おはなし会などの催しも順次再開していますが、病院への出張おはなし会はできてないので、おはなし会の様子を動画で撮って、病院へ届けています。また、学校からの見学が減っているので、図書館について紹介するDVDを図書館サポート隊の力を借りて制作し、学校に届けました。

けやき：この状況で何ができるか考えておられるのですね。

守山：サポート隊が活動する機会が減ったので、代わりに活動を紹介する展示を行っています。サポート隊の各メンバーが活動内容を紙に書き、館内やギャラリーの壁面に展示しています。ただ、サポート隊のボランティアは高齢者も多く、コロナ禍で中止になっていた活動を再開しても、すべてのサポーターが戻ってしてくれるかはわかりません。これからもたくさんの方の市民に支えてもらいながら、活動していきたいと考えています。

けやき：図書館が市民にとっての「知の広場」になるよう、図書館としての理念に基づいて、積極的にアイデアを出し、活動につなげていることがよくわかりました。ありがとうございました。

☆インタビューを終えて

守山市立図書館といえば、市外在住者にとっては、隈研吾氏設計の建物が、まず大いに興味をそそられる。しかし、今回の見学で、施設を案内していただくだけでなく、リニューアル後3年間の図書館運営や実際の活動状況を詳しくお聴きする中で、「図書館が、『本と人が出会い、人と人がつながる知の広場』となることを目指して」、設計されただけでなく、実際に運営されていることが、とてもよくわかった。

守山市立図書館のパンフレットには、建築の経緯の項があり、新図書館が「守山市立図書館整備基本計画書(案)」へのパブリックコメントや「みんなでつくろう!あたらしい図書館」ワークショップを経て、開設されたことが述べられている。天井が高くゆったり過ごせる空間にしつらえられた学習コーナーや閲覧席、無料で利用できるコンサートホールにもなる多目的室やスタジオと会議室は、これまで図書館にあまりなじみがなかった人たちをも呼び込んでいる。その上に、司書さんが市民と協働し多様なプログラムを積極的に実施しておられることが、守山市立図書館をさらに盛り立てている。「私たちが、望む図書館、目指す図書館」のヒントをたくさん与えていただけた。感謝したい。

(永井)



☆けやき会員おすすめの図書館

立誠図書館 (中京区蛸薬師通河原町東入ル)

元立誠小学校跡地に建つ「立誠ガーデンヒューリック京都」内にあり、運営は一般社団法人「文まち」，“地域のまなびや”として選書はブックディレクターの幅允孝氏 (BACH) 監修、蔵書数三千冊の小さな図書館。[本館][コミュニティ][アート][キッズ][メモリー]の5つのカテゴリーに分かれ、“もっと、つながる”をビジョンに人と本、人と人を繋ぐ図書館を目指しています。子どもたちへのお話会も定期的に開催。読書会員登録(年会費千円)すると貸出し、立誠広場への持出しができます。(石川)

永田文庫 (上京区御前通上ノ下立売上ル)

故人の長年の蔵書を人々に手にとってほしいとの思いから、弟夫婦が市中央図書館に程近いお宅の6畳間をリフォームし開設。いつでも誰でも立ち寄れます。昭和30年代あたりから現在までの、人文書、文学、ミステリ、全集など数千冊が並び、持ち主の幅広い関心が伺えます。古書店でも近頃見かけないような古典的名作や数十年前のベストセラーのタイトルなどが次々と目に飛び込んで心踊ります!貸出しも可。設置のノートには訪れた人々の自由な思いが綴られていました。※児童書はありません。(山形)

各地の動物園の図書館

私が立ち寄ったことがある動物園の図書館をおすすめします。旭川市旭山動物園の図書館は絵本がたくさんあり、暖かな日差しが差し込む心落ち着ける図書館でした。神戸市立王子動物園の図書館(動物科学資料館内)は分類分けがしっかりされていて、専門的な資料が充実。京都市動物園の図書館は、皆さんご存知のカフェ併設で明るくおしゃれな雰囲気です。お近くで、または旅先で、施設に付属の図書館を巡り、自分のお気に入りを見つけてみませんか?

(山田)



左京図書館読み聞かせ交流会

毎秋、京都市左京図書館主催・けやき企画協力で開催する「読み聞かせ交流会・絵本入門講座」。17 回目の今回は、3 回の講座に、のべ 73 人の参加がありました。

第 1 回 のりもの絵本作家・山本忠敬氏の絵本づくり 講師 山本洋子さん（山本忠敬氏夫人）

12 月 3 日（10 月 7 日実施予定を延期して開催）

読み聞かせ交流会第 1 回は、のりもの絵本の第一人者、作家の故・山本忠敬さんご夫人の山本洋子さんによる講演会です。東京美術学校で学んだ忠敬さんは、卒業制作としてアニメーションの絵コンテを制作、動きのある絵を得意としました。開成中学校で同級生だった瀬田貞二の誘いを受け、昭和 26 年に平凡社から出版された「児童百科事典」に挿絵を描きます。その挿絵のひとつが横浜港の全景で、この絵をきっかけに、絵本第一作となる「ビー、うみへいく」が誕生します。この本を手掛けたのは、当時まだ小さな出版社だった福音館書店。編集者の松居直らと響き合うように、絵本を作り始めます。

洋子さんは、忠敬さんと編集者たちの二人三脚の絵本作りの様子を取材先でのエピソードを交えて紹介。日本の児童文学の黎明期、作家や編集者の、未来を担う子どもたちに最高のものを届けたいという当時の熱気が、洋子さんのお話から伝わってきます。

忠敬さんの仕事ぶりについて、何度も取材を重ねる緻密さがある一方で、「鼻歌まじりに勢いで書く人だった」と洋子さん。電車や車など、メカニズムの質感を伝える細やか

さと、乗り物を擬人化し、友だちのように感じさせる愛嬌をあわせもつ作品が生まれた訳がわかりました。

最後に亡き夫について「そばにしていると幸福感がわいてくる人だったの」と、講演を締めくくり、参加者にも幸せをおすそ分けしてくださいました。

なお、今回の講演会に合わせ、「山本忠敬原画展」を 3 日から 6 日まで開催しました。詳細は次号ニュースレターで報告します。
(澤田)



山本洋子さん

第 2 回 前半 やってみよう！読み聞かせ 講師 岡部美樹さん（左京図書館司書） 後半 科学絵本・科学読み物ブックトーク 「ひつつきむしをよく見たら ～生きものを利用する種の知恵～」 講師 島崎真紀子さん (京都科学読み物研究会会員)

10 月 15 日

まず、「やってみよう！読み聞かせ」と題して、絵本の読み聞かせ初心者のための解説が岡部司書からありました。

絵本の選び方については、色合いがはっきりしたものが見やすい、低学年向けは文章と絵がつながっている展開がよい、など具体的な例を挙げての説明がありました。

また、実際に声を出す時の読み方について、無理に声色を変える必要はないが、自然に声の高低が出るのも素直な

彼女の人生行路には、小説よりもワクワクした。大抵の人はこんな破天荒はできない…。親友だった瀬戸内寂聴さんも登場！千代さんを京都でもてなしたときのお茶目っぷりには笑ってしまう。私は 40 過ぎのとき読んだのだが、齢をとるのにも良い事はあるのだと初めて知ったのは、この本を面白いと思った事によってだった。
(山形)

生きて行く私（上・下）

宇野千代著 毎日新聞社 1983 年

宇野千代さんは小説を書いたり、ファッション誌を作ったり、数々の著名人と浮名を流したりと忙しい人生を送った方らしい。古式で美しく読みやすい文調で語られ

けやき
の
本 棚

No. 64

気持ちで読んでいる結果なので、何よりも心を込めて自分が楽しんで読み、絵本が主役であることが大切だと教えていただきました。熱心な解説に、初心者も熟練者も改めて絵本の読み方について確認ができました。

「やってみよう！読み聞かせ」の次は、科学絵本のブックトークがありました。今回のテーマは、「ひつつきむしをよく見たら～生きものを利用する種の知恵～」。島崎さんが選んで用意して下さいった本が、講演台の周りに50冊ほど並べられました。

次々と読み聞かせしながら、ひつつきむしにまつわる絵本を紹介していきます。中には、左京区の岩倉の風景がモデルとなった絵本の紹介もあり、親近感が湧いてきました。

科学絵本と図鑑の読み比べのお話もありました。同じ人の出版物でも「監修」と「著」と本によって役割が異なっている場合がありますが、特に「作」「著」とある場合は著者の思い入れが強く気持ちがあふれている、ということも知ることができました。

島崎さんが採取して下さいったキンミズヒキを使っての解説も身近に感じられ、子供達と自然科学と一緒に学べるきっかけ作りに役立ちそうでした。

(中原)

第3回 小グループに分かれて絵本の読み語り実践交流

10月19日

読み聞かせ交流会3回目は、学校で読み聞かせ活動をしている人達が互いに本を読み合う実践です。前半は総勢18人の参加者が3班に分かれ、順に本を読み聞かせ合います。アドバイスをもらって自分の癖に気づいたり、他の人の読み方を参考にしたりすることができました。

後半は全員集合し、各班で読まれた本の紹介と話し合いの内容の共有。取り上げられた本は、食べ物の作られる工程がわかるもの、一緒に拍手したり謎解きができる参加型

など楽しいものが揃いました。特に今は感染対策で子どもたちが離れて座るため、絵が明確で大きいものが遠くの子どもにも見えるので良いようです。他者の視点を理解することを学んでほしい、大人になっても絵本を読んでほしいなど、子どもへの思いが語られました。

緊急事態宣言中は多くの学校で活動休止状態でした。学校によって実施の可否は分かれ、慎重な学校もあるものの、ボランティアから積極的に働きかけてもよいのではという意見も出ました。新たな工夫として紹介されたのが、授業で使われるタブレットで絵本をモニターに映し出し観せる方法。自在に拡大できるので、これまでできていた小型の本でも選べるようになりました。また、DVDを制作して学校側に渡し、使用してもらったという例もありました。

難しい状況の中で、子どもたちに絵本の楽しさを伝えたいというボランティアのより一層強い願いが分かち合えたようです。

(山形)



REPORT 2021年度(第23回)

図書館友の会けやき定期総会 報告

2021年度を迎えても新型コロナウイルスの感染はさらに拡がり、今年度の定期総会も、やむを得ず議案を会員に郵送し各議案について承認か否かを書面で回答していただく形式で行いました。

2021年7月2日に、書面総会の案内、議決回答書、議案資料(2020年度活動報告、2020年度会計報告、2021年度活動方針案、2021年度会計予算案、図書館友の会けやき会則改定案(会計年度を4月1日開始に変更)を会員に郵送しました。7月30日までに寄せられた会員の議決回答書によ

ぼくは川のように話す

ジョーダン・スコット文 シドニー・スミス絵 原田勝訳
偕成社 2021年

この絵本は作者の一人ジョーダン・スコットが吃音に悩んだ少年の日の出来事を描いたものです。繊細ですがあたたかみのある文章と、臨場感あふれる絵で見事に表現されています。

一なめらかな話し方であればいいのに、と思います。でも、そうになったら、それはぼくではありません。

ありのままの自分を受け入れ、自己肯定力を高めること。それが「生きる強さ」につながるのかもしれない。子どもたちだけでなく、大人にもおすすめしたい絵本です。

(左京図書館 中名)

り、全ての議案を承認いただいたものとし、2021年度の活動方針・会計予算に基づいて、活動を行っています。

総会後の図書館との懇談会とボランティア交流会は今年度もまだ開催できていませんが、おとなのための語りを楽しむ会、読み聞かせ交流会、図書館との共催事業「のりもの絵本作家山本忠敬氏原画展」や絵本学習会は、コロナ対策を講じ無事実施することができました。

今年度も、会員のみなさまから、図書館やけやきの活動について、多くのご意見・ご提案をいただきました。それらを図書館に届け、けやきの活動に反映させつつ、一日も早くコロナ禍が収束し、全ての活動が再開できる日を心待ちにしています。

(永井)

REPORT

第21回 おとなのための語りを楽しむ会

晩秋の11月28日、日曜日の午後「おとなのための語りを楽しむ会」が開催されました。残念ながら前回同様、換気に注意し会場の椅子は間隔をあけて、語り手も聞き手も共にマスク姿のおはなし会となりました。京都ではコロナの感染者数は減り一桁が続いていたものの、オミクロン株なる新型コロナが現れ世界に広まりつつある中での開催に、参加者はと心配でしたが、幸い前回より多くの来場者がありました。

例年同様「京都おはなしを語る会」のメンバーによって語られたおはなしは次の7話です。

1.なら梨とり(日本の昔話) 2.はちみつの好きなキツネ(ウクライナの昔話) 3.びんぼうこびと(ウクライナの昔話) 4.空をとぶきつね(岡山の昔話) 5.トッケビとなぞなぞをした男の子(韓国の昔話) 6.だまりっこ比

べ(福島の昔話) 7.おもしろカッコウ(アストリッド・リンドグリーン作)

今回は思わず笑ってしまうおはなしが多かったかもしれませんね。参加者からは「どのおはなしも面白かった」「語っていただくことで絵がうかんできて、イメージがふくらむという感覚を徐々に味わった」「おはなしを覚えて語るだけでなく、聴いている人たちに語りかけるように話すように表現されていてスゴイ」等の感想がありました。

来年度も無事に「おとなのための語りを楽しむ会」が開催されることを願っています。そしてマスク姿のないことを。

(奥坂)

けやきの活動記録

2021年7月～2022年1月

10/15「読み聞かせ交流会」第2回開催

10/19「読み聞かせ交流会」第3回開催

11/19 守山図書館見学・インタビュー

11/28 第21回「おとなのための語りを楽しむ会」開催

12/3「読み聞かせ交流会」第1回開催(10月の予定が延期)

12/3~6 山本忠敬氏絵本原画展

1/28 ニュースレター64号印刷・発送

<図書館おたのしみ会に協力>(第4土曜日)

中止

<絵本学習会>

10/22, 11/26, 12/10, 1/28

<事務局会議><図書館とのミーティング>(主に第1金曜日)

7/28, 9月メールにて事務局会議のみ議事, 10/1,

11/5, 12/6, 1/7

<「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター活動>

(毎週木曜日 10:30~12:00)

中止

レモンの図書室

ジョー・コットリル著 杉田七重訳 小学館 2018年

みなさんは、本は好きですか？私大好きです。なぜって、本は本にしかない世界へ連れて行ってってくれるから。落ちこんでいる時も、くじけそうになった時も、はげましてくれるから。そんな私のように、主人公のカリブソは、本が大好きです。カ

リブソは家に図書室を持っていて、いつもそこで本を読みます。カリブソはべつに人ぎらいってわけじゃないけれど、正直に言えば本の方が好き。本が頭の中につくってくれる安らぎの場所、魔法や、無人島や謎に満ちた世界が好きでした。「わたしはだいたいじょうぶ」何があっても、カリブソは自分に言い聞かせます。そんなカリブソの心を開いたのは？ (小5 林蔭)

図書館友の会 けやき の仲間になりませんか

知りたい 調べたい 本の世界を楽しみたい

そんな私たちの望みをかなえ 一人一人の世界を豊かにしてくれる場所

それが私たちの願う図書館です

京都市左京図書館が市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、活動したいと1999年に「けやき」を立ち上げました。図書館のスタッフとともに、左京図書館はじめ京都市図書館を支え、育てていきませんか。

次のような活動をおこなっています

であいの森

左京図書館のおたのしみ会（毎月第4土曜日 11:00）に協力。
絵本を読んだり、ブックトーク・人形劇やおはなしも。

「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター

毎週木曜日 10:30～12:00、左京図書館絵本コーナーで絵本探しのお手伝いをしたり、絵本を読んだりしています。

誰もが利用できる図書館を考える

図書館の現状を調べ学び、図書館に提案をしています。

ニュースレター編集部

友の会のニュースレター「けやき」を作成し、図書館と利用者をつなぐけやきの活動の情報を発信しています。

事務局

けやきの活動の企画提案。図書館行事に企画・協力。各グループ間や左京図書館との連絡調整を行っています。

絵本学習会

毎月第4金曜日 10:00～。取り上げた絵本をみんなで読み合い語り合う楽しい学習会です。

講演会・学習会

主催または図書館との共催で年に数回、地元の講師を中心に様々な興味深い講演会・学習会を行っています。

- ◆入会希望の方は年会費500円をそえ、下記郵便振込口座にお申し込み下さい。活動費の寄付も歓迎。

郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914 番
口座名称 図書館友の会 けやき

- ◆入会・活動への参加などお問い合わせは下記の事務局へメールで。

- ◆図書館友の会けやきホームページをぜひご覧ください。
ニュースレターのバックナンバーも掲載しています。

けやき情報版

けやきが「全国優良読書グループ」として表彰

図書館友の会けやきは、令和2年度の文部科学大臣表彰に続き、令和3年度は、読書推進運動協議会より、読書運動の推進に功績があったとして表彰を受けました。けやきは、会の設立以来、多くの会員が力を合わせ、赤ちゃん絵本ふれあいタイムやお楽しみ会、絵本学習会、読み聞かせ交流会、ニュースレター、講演会などの読書推進のための活動に、長年取り組んできました。今後も、これらの活動を継続し、さらに深め広げていきたいと思えます。（永井）

図書館で発表会

毎年恒例の「図書館で発表会」。図書館の資料を活用した成果を、左京図書館で展示してみませんか？子どもの自由研究や手芸、絵や写真、旅行プランなど、図書館で展示できるものなら何でもOK。たくさんのご応募をお待ちしています。

開催期間：2022年2月10日（木）～3月10日（木）

作品受付・募集期間：2022年1月19日（水）～2月6日（日）

詳しくは、左京図書館へお問い合わせください。

編集後記

62号のニュースレターに掲載したアンケート。「あなたにとって公共図書館とは？」の質問に「どこに行っても図書館には安心して入ることができる」という回答がありました。見学に訪れた守山市立図書館は、来る人を拒まない、ひらかれた場所でした。

（澤田）

昨秋は感染状況が一旦落ち着き、今号で報告の恒例の催しや特集のインタビュー取材ができました。中でもけやき発足後2年目に始まったおとなのための語りを楽しむ会は、子どもだけでなく大人向けの催しも、という声に応えたもので、以来21年。また読み聞かせ交流会は地域の学校図書館ボランティアの学びの場がほしい！という切実な思いから始まり17年機能してきました。いずれも身近な図書館でこんなことができたなら、という願いの結実です。図書館との協働で今年度も開催できたことに感謝しつつ、さらなる希いの種が育てばと思います。（島崎）

◇けやき 第64号 2022年1月28日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部
題字：吉政 富美子 デザイン：伊藤 理恵子

◇発行 図書館友の会 けやき

HP : <http://totomo-keyaki.com>

Mail : info@totomo-keyaki.com